

## 概 況

平成23年10～12月期の出荷数量は、前年同期に比べ、土木向けは減少、建築向けが増加し、16,024.8千<sup>m</sup>、前年同期比1.3%の増加となった。

### 1. 需要先別の動向

土木向けは6,374.9千<sup>m</sup>、前年同期比 4.1%減少となった。このうち鉄道・電力向けが649.7千<sup>m</sup>、1.1%と7期振りに減少、港湾・空港向けが570.0千<sup>m</sup>、同 5.7%、道路向けは1,751.1千<sup>m</sup>、同 9.0%、その他向けは3,404.1千<sup>m</sup>、同 1.6%とすべての需要先で減少となった。

建築向けは9,649.9千<sup>m</sup>、同5.1%と5期連続の増加となった。このうち官公需向けのみが1,516.9千<sup>m</sup>、同 12.6%減少したものの、住宅向けは4,674.2千<sup>m</sup>、同8.7%の増加、非住宅向けも3,458.9千<sup>m</sup>、同10.1%の増加となった。

### 2. 地域別の動向

経済産業局(沖縄は内閣府沖縄総合事務局)別にみると、北海道は812.4千<sup>m</sup>、前年同期比 0.7%の減少となった。このうち土木向けは381.7千<sup>m</sup>、同 7.7%減少、建築向けは430.8千<sup>m</sup>、同6.5%と5期連続増加となった。内訳をみると、鉄道・電力向け(同99.6%)、住宅向け(同3.5%)、非住宅向け(同21.0%)などが増加したものの、港湾・空港向け(同 21.5%)、道路向け(同 25.8%)、その他向け(同 9.2%)、官公需向け(同 6.3%)などが減少した。

東北は1,586.5千<sup>m</sup>、同12.0%と5期連続の増加となった。このうち土木向けは803.8千<sup>m</sup>、同10.6%、建築向け782.7千<sup>m</sup>、同13.4%とともに増加となった。港湾・空港向け(同58.3%)が大幅に増加し、非住宅向け(同35.5%)、鉄道・電力向け(同19.5%)、住宅向け(同16.5%)などが震災の復興事業の影響で増加したが、道路向け(同 24.0%)、官公需向け(同 18.0%)などが減少した。

関東は5,855.7千<sup>m</sup>、同3.1%と5期連続増加となった。このうち土木向けは1,829.0千<sup>m</sup>、同 0.2%と18年の2期から連続の減少、建築向けが4,026.6千<sup>m</sup>、同4.7%と5期連続の増加となった。道路向け(同 5.4%)、官公需向け(同 15.1%)などが減少したものの、港湾・空港向け(同11.0%)、住宅向け(同10.7%)、非住宅向け(同3.5%)などが増加した。

中部は1,836.2千<sup>m</sup>、同 4.8%と5期ぶりの減少となった。このうち土木向けは855.0千<sup>m</sup>、同 7.6%と北陸新幹線の施設工事が終了したことが影響し、4期連続の減少、建築向けは981.1千<sup>m</sup>、同 2.3%とともに減少となった。道路向け(同3.2%)、非住宅向け(同2.2%)などがやや増加したものの、鉄道・電力向け(同 33.1%)、港湾・空港向け(同 22.6%)が大幅に減少し、官公需向け(同 8.6%)、住宅向け(同 3.9%)なども減少した。

近畿は1,738.0千<sup>m</sup>、同2.9%の増加となった。このうち土木向けは692.7千<sup>m</sup>、同 2.0%の減少、建築向けは1,045.3千<sup>m</sup>、同6.4%増加となった。鉄道・電力向け(同 6.4%)、港湾・空港向け(同 24.3%)、官公需向け(同 6.1%)などが減少したものの、非住宅向け(同20.4%)、道路向け(同2.7%)などが増加した。

中国は1,138.8千<sup>m</sup>、同2.7%の増加となった。このうち土木向けは530.4千<sup>m</sup>、同 4.6%と7期連続の減少、建築向けは608.3千<sup>m</sup>、同10.0%と6期連続増加となった。港湾・空港向け(同 7.8%)、道路向け(同 13.0%)、官公需向け(同 11.1%)などが減少したものの、鉄道・電力向け(同40.9%)、住宅向け(同9.0%)、非住宅向け(同25.3%)などが増加した。

四国は806.1千<sup>m</sup>、同 5.8%と18年の2期より連続の減少となった。このうち土木向けは404.4千<sup>m</sup>、同 17.6%、8期連続の減少、建築向けは401.7千<sup>m</sup>、同10.0%と5期連続増加となった。住宅向け(同8.0%)、非住宅向け(同21.4%)のみが増加、鉄道・電力向け(同 23.5%)、港湾・空港向け(同 50.8%)、道路向け(同 13.5%)、その他向け(同 13.2%)、官公需向け(同 0.7%)などが軒並み減少した。

九州は1,860.5千<sup>m</sup>、同 0.8%の減少となった。このうち土木向けは793.3千<sup>m</sup>、同 10.9%と19年3期より連続の減少、建築向けは1,067.2千<sup>m</sup>、同8.4%と6期連続の増加となった。鉄道・電力向け(同68.0%)住宅向け(同22.7%)、非住宅向け(同2.2%)などが増加したものの、港湾・空港向け(同 21.7%)、道路向け(同 14.7%)、官公需向け(同 18.9%)などが減少した。

沖縄は390.6千<sup>m</sup>、同 13.8%の減少となった。このうち土木向けは84.5千<sup>m</sup>、同 17.7%、建築向けは306.1千<sup>m</sup>、同 12.6%とともに減少となった。鉄道・電力向け(同 84.5%)、港湾・空港向け(同 24.5%)、道路向け(同 1.7%)、その他向け(同 10.9%)、官公需向け(同 16.5%)、住宅向け(同 5.4%)、非住宅向け(同 38.4%)などすべて減少した。

### 3. 月別の動向

月別に出荷動向をみると、10月が5,219.2千<sup>m</sup>、前年同月比3.6%、11月が5,361.9千<sup>m</sup>、同 1.7%、12月が5,443.7千<sup>m</sup>、同2.0%と11月のみが減少となった。

このうち土木向けは、10月が2,020.8千<sup>m</sup>、同 2.3%、11月が2,151.7千<sup>m</sup>、同 6.7%、12月は、2,202.4千<sup>m</sup>、同 3.1%と各月ともに減少となった。

建築向けは、10月が3,198.4千<sup>m</sup>、同7.7%、11月が3,210.2千<sup>m</sup>、同2.0%、12月は3,241.3千<sup>m</sup>、同5.8%と各月ともに増加となった。

### 4. 設備能力及び従業員数

12月末の全国のプラントの基数は1,837基で、前期末(23年9月末)より15基の減少、前年同期末(22年12月末)より79基減少した。月間生産能力は48,170千<sup>m</sup>、前年同期比 4.3%の減少となった。

12月末の従業者数は、21,987人、前年同期末より1,084人(4.7%)減少となった。